



## ■株主メモ

- ▶事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ▶定時株主総会 毎年6月開催
- ▶基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- ▶単元株式数 100株

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

- ▶株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- ▶株主名簿管理人事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-176-417  
(ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- ▶上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
- ▶公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL <<http://www.ichinenhd.co.jp/>>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

日経IRフェア2012  
STOCKWORLD

開催日 2012年8月31日(金)~9月1日(土)  
時間 9:30~17:30  
会場 東京ビッグサイト 東1ホール  
(東京都江東区有明3-10-1)  
主催 日本経済新聞社  
入場料 無料

【お問合せ】  
株式会社 イチネンホールディングス 社長室  
TEL 06-6309-7890

**株主の皆さまの声を  
お聞かせください**

懇親会開催に伴う、  
設問がありますので、  
ぜひアンケートに  
ご協力ください。

当社では、株主の皆さまの声を  
お聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9619

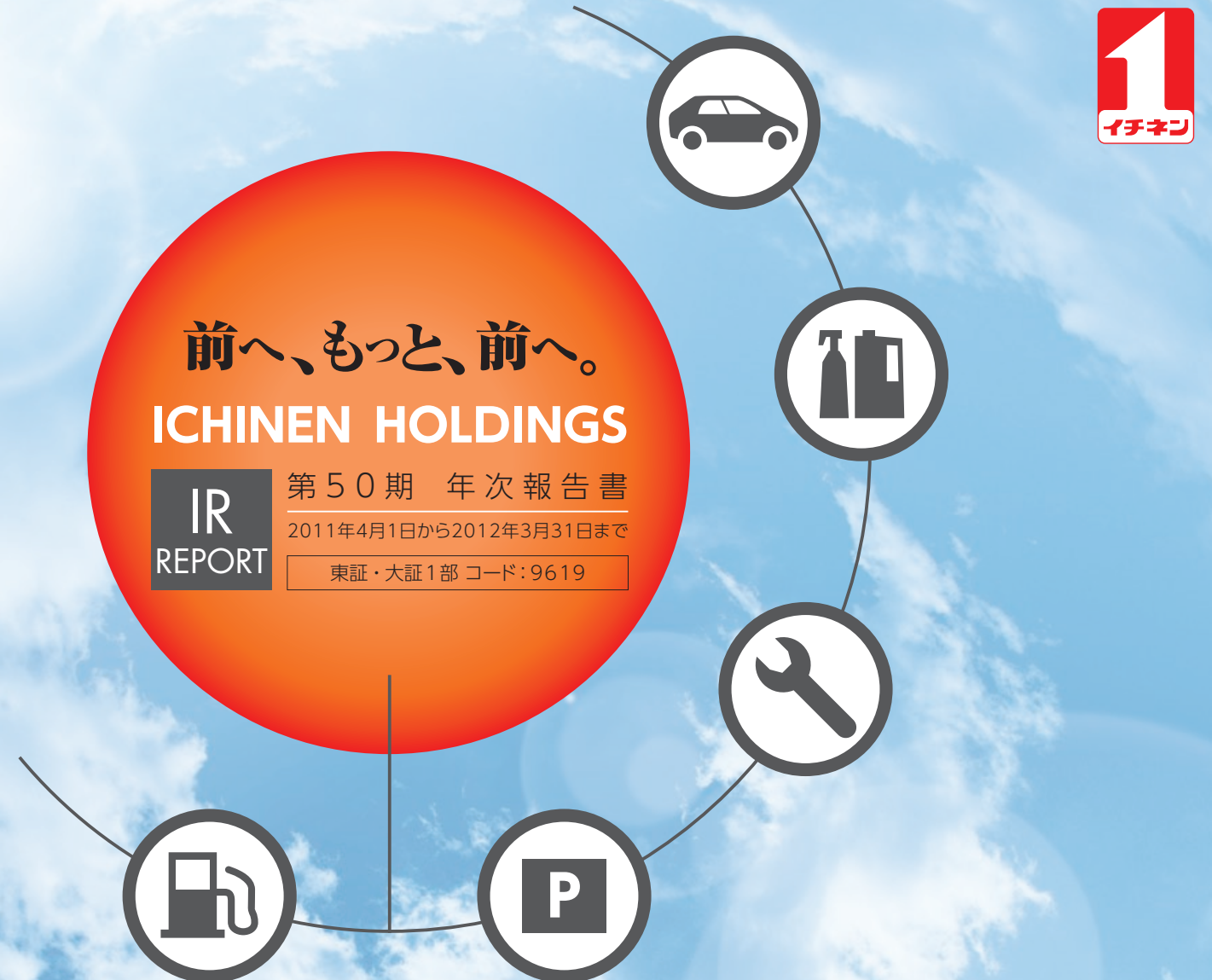
いいかぶ  検索

空メールによりURL自動返信  
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。ご回答いただいた方の中から抽選で簿謝(図書カード500円)を差しさせていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com



## 株式会社 イチネンホールディングス

(東証・大証1部コード:9619)  
〒532-8567 大阪市淀川区西中島四丁目10番6号  
TEL. 06-6309-1800 (代表)  
Facebook公式ページ <http://www.facebook.com/ichinengroup>

▼携帯サイトは  
こちらから



# 前へ、もっと、前へ。

## 第2創成期は積極果敢に 攻めの経営を展開。

株主さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、創業80周年を迎えてから「第2創成期」として新たなスタートを切り、積極的な攻めの経営を展開しております。当事業年度においては、拡大への動きを加速させるため、新たにグループビジョン「前へ、もっと、前へ」を策定いたしました。中核となる自動車関連事業は、電気自動車やハイブリッド車の普及に伴い、今後、様変わりしていくことが予想されます。持続的な成長を確立し、企業価値の向上を図るには、既存事業の拡充に加えて、将来を見据えた新規事業の創出が不可欠です。事業分野を問わずM&Aも視野に入れ、前を向いた攻めのグループ経営により、株主さまをはじめとするすべてのステークホルダーの方々にお応えしていきたいと考えております。

代表取締役社長 黒田 雅史



## 「グループ経営」「増販・拡大」「低コスト経営」をテーマに 営業利益・経常利益は2期連続で過去最高を更新。

**Q** 第50期(2012年3月期)の業績について、どのように評価されていますか。

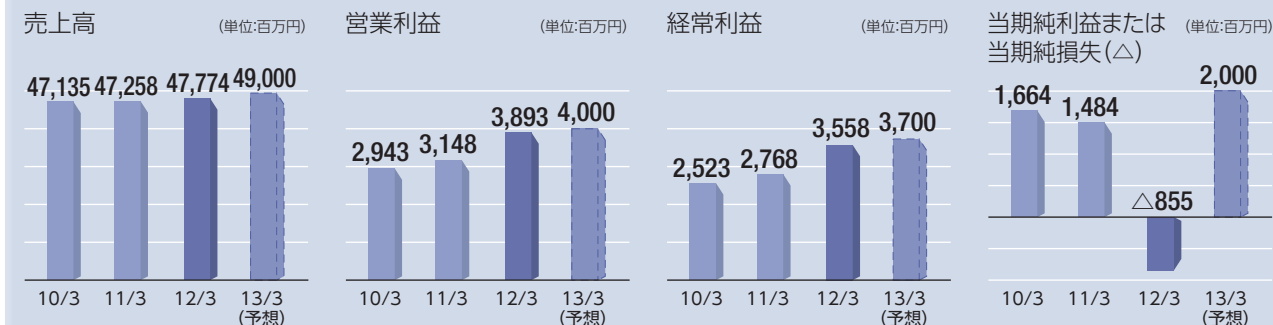
**A** 当社グループを取り巻く経営環境は、前期に引き続き厳しい状況にありましたが、当事業年度の業績は、売上高47,774百万円(対前期比1.1%増)、営業利益3,893百万円(同23.7%増)、経常利益3,558百万円(同28.6%増)、当期純損失855百万円という結果となりました。予算達成とはいかなかったものの、東日本大震災による急激な市場の変化や高騰を続ける原油高の中、営業利益および経常利益が2期連続で過去最

高を更新できたことは、利益改善への取り組みが着実に実を結びつつあると評価しております。

**Q** 営業利益・経常利益が過去最高となった主な要因をお聞かせください。

**A** 第50期の経営テーマは、前期からの方針をより明確にするとともに取り組みを本格化させるため、「グループ経営」「増販・拡大」「低コスト経営」といたしました。営業利益・経常利益における過去最高益の更新は、グループ各社および従業員一人ひとりにお

### 財務ハイライト





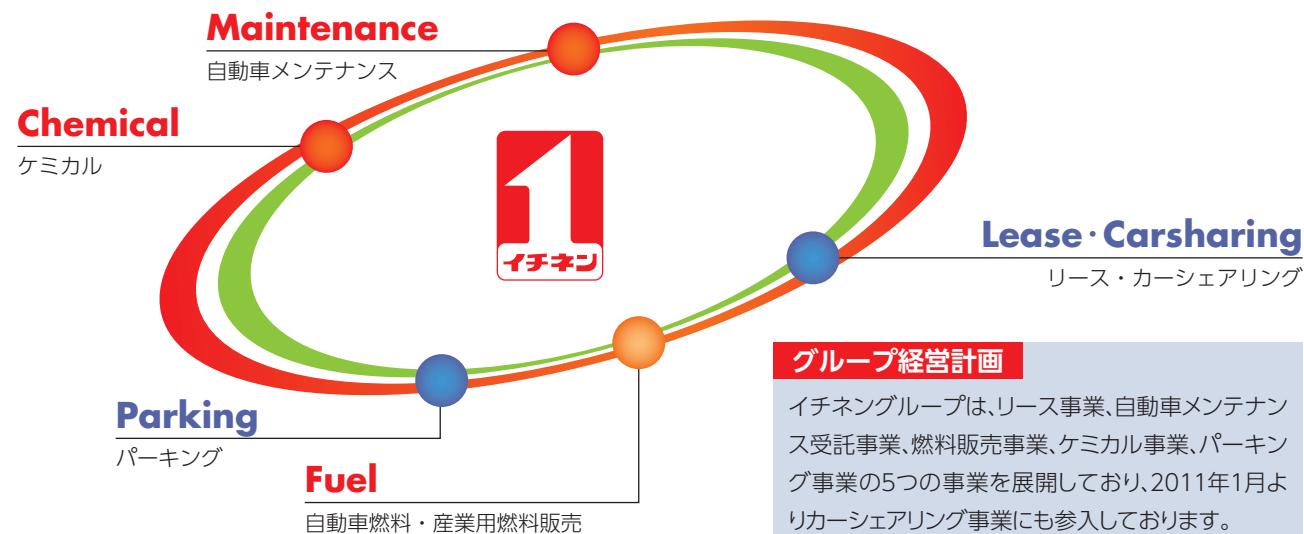
## 第51期も引き続きグループの総力をあげた拡大路線で、 新たな成長軌道の確立へ向けた基礎固めを推進してまいります。

ける意識改革が着実に進んだことを示しています。

具体的な施策面では、3年前から取り組みを開始していた事業連携が機能し始めた点を要因として挙げることができます。例えば、リース・自動車メンテナンス受託・燃料販売の3事業を展開する株式会社イチネンでは、各事業を集約する地域別営業本部を設置しました。各々の事業の垣根を越えることで、顧客情報の共有による適切な提案営業、効率的な営業活動が可能となり、収

益力の向上、営業コストの削減として成果が現れ始めております。

また、地方の需要掘り起こしを目的とした営業拠点の新設も、地域密着戦略が功を奏し着実な成果を上げました。2009年10月に宮崎、2011年9月には島根に設置し、来期も1カ所ないし2カ所の拠点づくりを計画しており、地域密着に徹底した営業ネットワークの強化に努めてまいります。



さらなる前進を図りたいと考えております。特に注力すべきは、規模の拡大です。

なかでもリース・自動車メンテナンス受託・燃料販売の事業は、電気自動車(EV)・ハイブリッド車(HEV)がガソリン車に取って代わるまでの過渡期においてシェアを拡大し、来るべき転換期での競争が優位に展開できるための基礎を築かなければなりません。並行して自動車メンテナンス受託事業では、EV・HEVに対する整備技術の研究と修得を推進します。また、燃料販売事業は、給油カードの発券枚数の拡大を図りつつ、給油カードに代わる新しいサービスの研究を進め、それを視野に入れた新事業の開拓に努めてまいります。

ケミカル事業は、主要の燃料添加剤等の国内市場におけるシェア拡大を図るだけでなく、東南アジアなど海外市場への進出も積極的に注力いたします。パーキング事業は、前期に引き続き当期においても用地等の減損処理を行った結果、収益における体質改善が図れ、第51期からは、さらなる収益力の拡大がグループ全体の業績に大きく寄与していくのではと期待をしております。新規事業のカーシェアリング事業は、まだまだ歩みを始めた段階であり、早期の黒字化へ向けた会員数の拡大とサービスの向上に努める所存です。

業績目標として、売上高490億円、営業利益40億円を掲げ、達成を目指して事業拡大に取り組んでまいります。

**Q** 第51期(2013年3月期)の経営テーマと各事業の取り組み方針をご説明願います。

**A** 第51期も、第2創成期における成長軌道の確立へ向けた基礎固めに重点をおきます。「考えて挑戦する」を経営テーマのメインにおいて、第50期でのテーマに基づく取り組みを質的な面からも向上させ、

## 1 休暇取得を積極的に推進する「ポジティブ・オフ」運動に賛同しています。

当社では、9連続休暇を含む休暇取得の積極的推進を行っており、観光庁が推進している「ポジティブ・オフ」運動\*に賛同しております。

### POSITIVE OFF

※「ポジティブ・オフ」運動とは、休暇を取得して外出や旅行などを楽しむことを積極的に促進し、休暇(オフ)を前向き(ポジティブ)にとらえて楽しむ、という運動です。休暇を取得しやすい職場環境や雰囲気をととのえていくこと、それをベースとした外出・旅行を通じて経済活性化に貢献すること、長期的にワークライフ・バランスの実現や休暇を楽しむライフスタイルなどの「ライフスタイル・イノベーション」に繋げていくことを目的として、内閣府、厚生労働省、経済産業省と共同して提唱・推進しています。

当社では、『休暇を取得するということ』は、**1.『業務改善』**  
**2.『リスクの分散』****3.『心身のリフレッシュ』**に繋がると考えており、連続休暇取得を推進させるため、社長 黒田雅史自ら 役員・管理職から率先して休暇を取得する等の休暇を取得し易い環境づくりを推進しております。その結果、2010年3月期33%であった有給取得率が(ホールディングス単体)2011年3月期には63%に上昇し、約30%UPしました。

また、このように社長自らが休暇取得に力を入れていることが観光庁より高く評価され3月1日(木)に大阪(梅田スカイ

ビル)で開催されたポジティブ・オフ シンポジウムに社長 黒田雅史がパネラーとして参加し、当社グループの取り組み、9連続休暇取得の推進によるワークライフ・バランスの実現並びに業務効率についてのお話をさせていただきました。

今後も引き続き休暇取得制度の活用で、業務改善・残業の削減を目指してまいります。

#### 1.業務改善となる

- 長期休暇を取得することで、普段の業務効率を見直す良い機会になる。
- 本当に必要な業務であるかを考え直す良い機会となる。
- 残業の削減となる。2010年10月699時間→2011年9月435時間(264時間削減)。

#### 2.リスクの分散

- 担当業務の偏りをなくし、他の社員がカバーしあえるような体制づくり。

#### 3.心身のリフレッシュ

- 長期休暇を取得することで心身のリフレッシュはもちろん、普段の休暇では行けない旅行先での出来事や家族とゆっくり過ごせる時間を通じ、その体験を仕事に繋げることも重要。

## 2 イチネンBPプラネット株式会社 ホームページリニューアル! ホームページ上で簡易見積りが可能に!

イチネンBPプラネット(株)では、今夏にホームページの大幅リニューアルを行い一般顧客層への展開に注力します。一般的には分かりにくい钣金塗装料金を明確に打ち出すことで法人以外の一般ユーザー(特に女性)が気軽に見積りを出来るようになります。

同社では、一般ユーザーからホームページに送信された事故車画像をもとにアジャスター(見積り査定士)が、適正価格並びに提携している钣金工場を案内いたします。

一般ユーザーは修理金額の詳細が分かりづらく、修理工場への入庫は敷居が高くなりがち。そこを同社の見積り査定士が修理工場と価格交渉を行い適正価格で一般ユーザーに安心して修理頂ける仕組みとなっております。

また、同社では、今後モリサイクル部品の活用を推奨し、環境保全への取り組みにも力をいれます。

お車の修理の際は、是非イチネンBPプラネット(株)でお見積りください。適正価格でご案内いたします!



### IRカレンダー

### 年間スケジュール

## 2012

6/6:決算説明会  
定時株主総会

日経IRフェア  
参加予定

第2四半期決算発表予定  
会社説明会予定

## 2013

4月 ● 5月 ● 6月 ●

7月 ● 8月 ● 9月 ●

10月 ● 11月 ● 12月 ●

1月 ● 2月 ● 3月 ●

4/27:決算発表

7/5:会社説明会  
第1四半期決算発表予定

会社説明会  
予定  
会社説明会予定

会社説明会予定  
第3四半期決算発表予定



リース事業

売上構成比  
47.2%



事業紹介

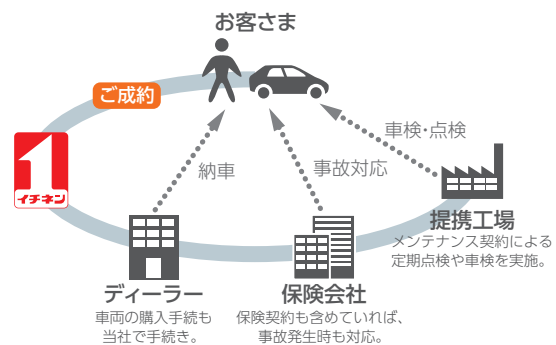
自動車保有による負担を軽減するオートリースを行っています。リース事業は自動車整備工場を経営する過程で誕生しましたので、高品質なメンテナンスリースに自信があります。顧客のニーズや環境保全の視点を取り入れ、幅広いサービスを提供しています。

- 投資効率を重視したリース契約の増加に努め、リース契約満了時における解約阻止にも注力しました。
- 2012年3月末現在リース契約台数は57,993台(対前期末比1,931台増)となり、リース契約高は218億46百万円(対前期比1.7%増)、リース未経過契約残高は448億8百万円(対前期末比2.6%増)となりました。
- 新車入替時の納期遅延による再リース契約比率の上昇、並びにリース契約車両の小型化の影響により、売上高は227億80百万円(対前期比0.2%増)、営業利益は13億47百万円(対前期比7.1%増)となりました。

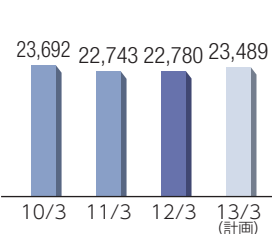
売上高 **227億80百万円**  
前年比37百万円(0.2%)の増加

営業利益 **13億47百万円**  
前年比89百万円(7.1%)の増加

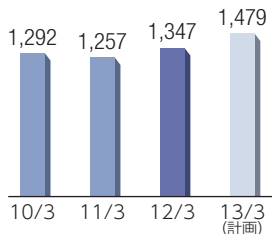
オートリースの仕組み



売上高の推移 (百万円)



営業利益の推移 (百万円)



ケミカル事業

売上構成比  
22.6%



事業紹介

産業機械や自動車のメンテナンスに欠かせないケミカル製品を多彩にラインナップしています。また、各種ボイラーやディーゼルエンジンの省エネに貢献する添加剤など、さまざまなテクノケミカル製品もご提供しています。



- 工業薬品関連では、主力製品の燃料添加剤、船舶用燃料添加剤ともに売上数量は前期より減少しました。一方、化学品関連では、防水型携帯電話部品関連でスマートフォン向けの受注台数が前期より増加しました。また、機械工具商向け化学品等についても堅調に推移しました。

- 売上高は109億25百万円(対前期比0.9%減)、営業利益は8億38百万円(対前期比22.6%増)となりました。

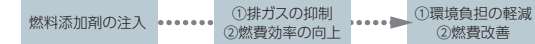
売上高 **109億25百万円**  
前年比1億4百万円(0.9%)の減少

営業利益 **8億38百万円**  
前年比1億54百万円(22.6%)の増加

ケミカル事業の概要

テクノケミカル事業

各種ボイラーやディーゼルエンジン等の「スムーズな燃焼」に欠かせない添加剤を中心に多彩なケミカル製品を提供。重油・軽油・バイオマス等の液体燃料用添加剤は国内市場シェア80%。



ファインケミカル事業

液晶ディスプレイやOA機器等のクリーナー製品、コーティング、精密機器(スマートフォン等)の防水パッキン分野で活躍。

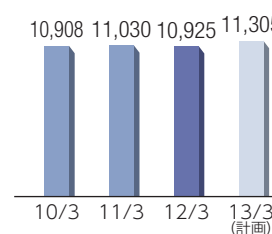
プロコースケミカル事業

自動車補修・整備用ケミカル[NX]ブランドと「JIP」ブランドを中心に製品展開。プロコースのニーズに対応。

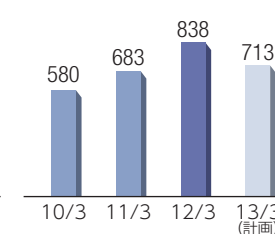
コンシューマケミカル事業

カー用品全般のケミカル用品を提供。メガネクリンビュー製品など「快適に、清潔に、便利に」という消費者ニーズに対応。

売上高の推移 (百万円)



営業利益の推移 (百万円)







自動車メンテナンス受託事業

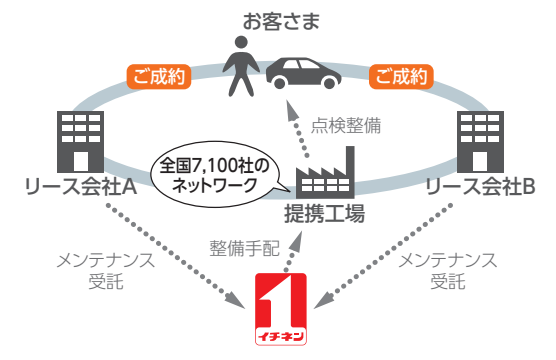
売上構成比  
16.3%



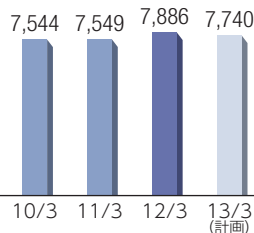
事業紹介

自動車の走行距離に合わせた保守整備や点検情報の集中管理、「動くメンテナンス工場・巡回サービスカー」など、きめ細やかなサービスを実施しています。また、環境に配慮した車体修理事業をイチネンBPプラネット株式会社で展開しています。

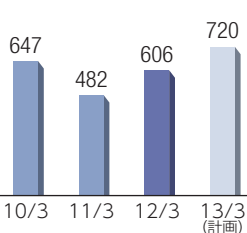
自動車メンテナンス受託の仕組み



売上高の推移 (百万円)



営業利益の推移 (百万円)



- 当社独自の強みである高点検率、営業品質を追求しながら、契約台数、契約残高の増加に努めました。
- メンテナンス受託契約高は47億53百万円(対前期比1.2%増)、メンテナンス未経過契約残高は63億94百万円(対前期末比2.2%増)となりました。
- 中古自動車の販売が堅調に推移し、売上高は78億86百万円(対前期比4.5%増)、営業利益は6億6百万円(対前期比25.7%増)となりました。

売上高 **78億86百万円**  
前年比3億36百万円(4.5%)の増加

営業利益 **6億6百万円**  
前年比1億24百万円(25.7%)の増加



パーキング事業

売上構成比  
7.4%



事業紹介

土地の有効活用を目的としたパーキング「One Park」だけでなく、店舗や商業施設、病院に付帯した駐車場にも積極的に取り組み、土地オーナーさまやドライバーのみなさまに安心して快適なサービスをご提供しています。



One Park 心斎橋

- 中長期的に安定した収益基盤を築くため、さらなる駐車場数の拡大と引き続き不採算駐車場の採算改善を行い、駐車場個々の収益向上に努めました。
- 2012年3月末現在駐車場管理件数は621件(対前期末比23件増)、管理台数は16,110台(対前期末比942台増)となりました。
- 売上高は35億70百万円(対前期比4.4%増)、営業利益は3億35百万円(対前期比35.2%増)となりました。

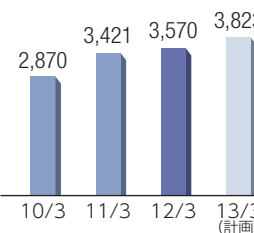
売上高 **35億70百万円**  
前年比1億48百万円(4.4%)の増加

営業利益 **3億35百万円**  
前年比87百万円(35.2%)の増加

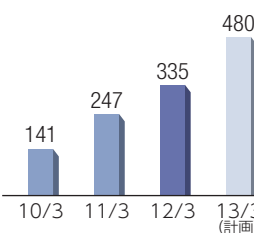
パーキング事業の概要



売上高の推移 (百万円)



営業利益の推移 (百万円)





燃料販売事業

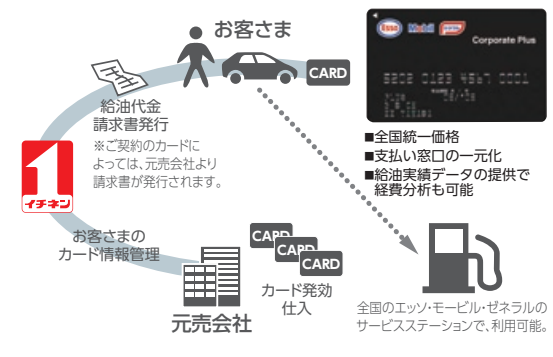
売上構成比  
5.5%



事業紹介

全国の各サービスステーションで給油できる「エッソ・モービル・ゼネラル・コーポレートカード」を販売。イチネンならではのスケールメリットで全国統一価格を実現し、燃料代削減に貢献します。また、燃料代の一括管理により経理事務合理化もサポートします。

給油カードの仕組み

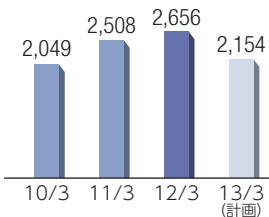


- 主力である自動車用燃料給油カードにおいて、付加価値の高いサービスを顧客に提供し、他社との差別化を図ることにより、新規顧客獲得並びに販売数量の確保に注力しました。
- 売上高は26億56百万円(対前期比5.9%増)、営業利益は5億81百万円(対前期比79.6%増)となりました。

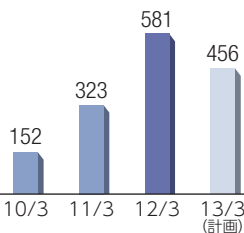
売上高 **26億56**百万円  
前年比1億48百万円(5.9%)の増加

営業利益 **5億81**百万円  
前年比2億57百万円(79.6%)の増加

売上高の推移 (百万円)



営業利益の推移 (百万円)



連結貸借対照表のポイント

(単位:百万円)

	当期 2012年3月31日現在	前期 2011年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	31,084	32,582
固定資産	44,256	44,905
有形固定資産	33,884	34,112
無形固定資産	5,197	5,745
投資その他の資産	5,173	5,047
繰延資産	41	57
資産合計	75,382	77,544
<b>【負債・純資産の部】</b>		
流動負債	30,967	27,457
固定負債	29,844	34,193
負債合計	60,811	61,650
株主資本	14,619	15,928
その他の包括利益累計額	△57	△43
新株予約権	8	8
純資産合計	14,571	15,894
負債純資産合計	75,382	77,544

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書のポイント

(単位:百万円)

	当期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
売上高	47,774	47,258
売上原価	35,274	35,466
売上総利益	12,500	11,792
販売費及び一般管理費	8,606	8,643
営業利益	3,893	3,148
経常利益	3,558	2,768
当期純利益又は当期純損失(△)	△855	1,484

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 貸借対照表

パーキング自社物件の減損処理をしたことにより、「土地」の減少、その他により総資産が減少いたしました。また、有利子負債の圧縮により負債が減少いたしました。

自己資本比率は、19.3%となりました。

POINT 2 損益計算書

売上高は、昨年に引き続き増収となりました。また、営業利益、経常利益ともに昨年に引き続き過去最高益の更新となりました。

パーキング自社物件の減損損失を特別損失に計上したことにより、当期純損失となりました。

■株式の総数 (2012年3月31日現在)

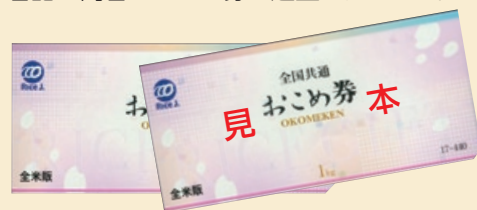
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	25,163,727株
株主数	11,692名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
第一燃料株式会社	2,350	9.34
住友信託銀行株式会社	820	3.26
黒田 雅史	754	3.00
黒田 和伸	654	2.60
黒田 勝彦	612	2.43
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	511	2.03
黒田 恭年	486	1.93
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	477	1.90
黒田 倅稔	472	1.88
イチネン共栄会持株会	455	1.81

(注) 1. 持株比率は自己株式 (10,877株) を控除して計算しております。  
2. 住友信託銀行株式会社は、2012年4月1日付で中央三井信託銀行株式会社・中央三井アセット信託銀行株式会社と合併し、社名を三井住友信託銀行株式会社に変更しております。

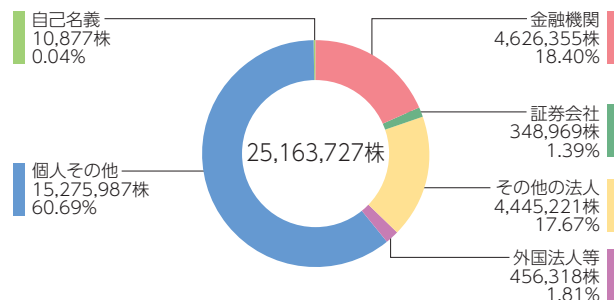
株主優待情報

割当基準日/3月末日における持株数に対して  
右記の内容のおこめ券を進呈いたします。

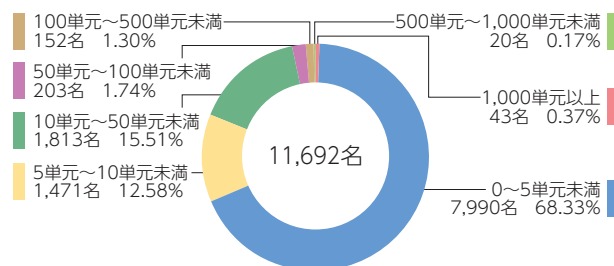


持株数	内容
100株以上 500株未満	全国共通おこめ券 2kg
500株以上 2,000株未満	全国共通おこめ券 5kg
2,000株以上	全国共通おこめ券 10kg

■所有者別株式分布



■所有単元数別株主分布



■会社概要 (2012年3月31日現在)

商号 株式会社イチネンホールディングス  
(ICHINEN HOLDINGS CO.,LTD.)  
U R L http://www.ichinenhd.co.jp/  
本店所在地 大阪市淀川区西中島四丁目10番6号  
創業 1930年 (昭和5年) 6月1日  
会社設立 1963年 (昭和38年) 5月7日  
資本金 2,529,135,586円  
従業員数 連結 585名 単体 55名

■取締役及び監査役 (2012年6月18日現在)

代表取締役社長 黒田 雅史  
取締役副社長 黒田 勝彦  
取締役専務執行役員 三村 一雄  
取締役 影山 忠広  
取締役 木村 平八  
常勤監査役 奥田 純  
常勤監査役 川上 弘伸  
監査役 中室 修司

■グループ会社 (2012年3月31日現在)

株式会社イチネン  
株式会社タイホーコーザイ  
野村オートリース株式会社  
アルファオートリース株式会社  
株式会社イチネンパーキング  
イチネンBPプラネット株式会社  
株式会社イチネンカーシェアリング  
株式会社セレクト

ホームページのご案内

当社のホームページで最新情報を発信しております。  
ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.ichinenhd.co.jp/>

イチネンホールディングス



グループ経営計画

財務情報